

学校だより 潮鳴り No.8

令和4年11月28日

暦の上では「小雪」を迎え、風もより冷たさを感じるようになりました。保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、8号については、以下のように職員会義での内容をお伝えいたします。

*学校の詳しい様子については、大洋中学校ホームページをご覧ください。

1 「話し合い活動」の充実

8月の校内研修で行われた「話し合い活動」の研修成果が各学級で現れてきていることを感じます。校内巡視をしている際、各授業では、グループによる意見の交換がなされ、自分の意見を話すだけでなく、相手の意見を受け入れ、互いに認め合える場面が見られます。9月の始業式でも話しましたが、「話し合い活動」には、「キャッチボール」と「ドッジボール」が必要です。基本的に相手の意見や考えを認める「キャッチボール」だけでは、「話し合い活動」の成果は止まってしまいます。相手の意見や考えが明らかにおかしい場合、相手の意見や考えの根拠や方向性について、質問したり、追及する「ドッジボール」も必要となってきます。この時気をつけなければならないことは、議論と討論は違うという事です。いわゆる「話し合い活動」は「議論」のことを言います。「議論」は、話し合いを通してより良い方向へ導いていくことです。「討論」は、互いに根拠に基づく主義主張を通して争うことを言います。よって、討論では、賛成派と反対派に分かれます。また、英語科の中で最近求められているプレゼンテーション及びディベートは、この「討論」に近いものとされています。生徒にとって将来的には必要な能力といえます。

2 グランドデザインへの追加事項

(1) 「目指す学校像」

- 安全で安心な学校
- 活力のある学校
- 自主・自立を育む学校

(2) 「目指す生徒像」

- コミュニケーションができる生徒
- 自己コントロールができる生徒
- 改めることができる生徒

(3) 「目指す教師像」

- 人間性豊かな教師
- 信頼される教師
- 学び続ける教師



昨年度までのグランドデザインにも明記されていた内容を検討し、改めて設定しました。「安全で安心な学校」「コミュニケーションができる生徒」「人間性豊かな教師」を各々目指す理想像の1番目に掲げました。学校は生徒にとって「安心できる場」であり、仲間とのコミュニケーションにより、お互いの能力を开花させ、切磋琢磨しながら伸ばし合うことが理想です。そして教師は、夫々の人間性を発揮していきましょう。

3 グランドデザインの変更事項

○体力テストA+B ⇒ 60%

*コロナ感染症対策等の影響として、運動する場面の減少がみられました。それに伴い生徒個々の運動能力の低下がみられました。これらを理由として、目標数値を66%から達成可能な60%に引き下げました。

○職員の時間外労働時間

- ・月80時間以内の厳守
- ・目標45時間以内

○「服務規律の確保」を改めてグランドデザインに明記しました。

4 駅伝・新人戦を通して

駅伝や新人戦前の練習の様子を毎日観させていただきました。その中で生徒と話をすると「何のために走るのか分かりません」という声が聞かれました。私は「目的と目標を持ってください」と話しました。人間は、大人も子供も例外なく、同じことを毎日続けていると「何のためにやってるんだろう？」と思うことがあります。そんな時、どのように「脳のやる気スイッチを入れるか」が夫々必要です。

5 座右の銘

「成し遂げんとした志を ただ1回の敗北によって 捨ててはならない」
ウィリアム・シェイクスピア